遞信省認可 明治廿一年一月廿日 やまと新聞第三百八十六號附録
近世人物誌
やまと新聞附録(第六)
武田耕雲齋別室 時子
時子は旧水戸藩の老臣武田伊賀守
源正生の別室なり正生は耕雲齋と
号す藩主烈公の知遇を得て
通り勇を兼ねたり烈公
の議に熱心ありし頃常に側に侍し謀
を献じたるよしなり烈公逝たり
尚ほ其遺志を遂げんとせしが藩中
反對黨これを阻し且逆名を附して
これを擯けしよりこれを誅せんと兵
を起して常州筑波山野州大平山等
に轉戰せしが幕兵反對黨を援けて
戰ひしより衆寡敵せずして軍破き
しもは京都に奔つて衷情を禁闕
に訴へんと欲し轉じて加州に入りし
かと道梗りて通せず遂に金澤藩に
降まり時子も終始これに隨ひし
が降參後田丸稲子等と倶に越前
敦賀にて斬らる
辞世
あねてみいなしと思へど此次の
花も[illegible]ぞ[illegible]
發行所 東京 京橋区 尾張町二丁目一番地 やまと新聞社
印刷人 輿隅佽二
編輯人 中泉政[illegible]